

瑞巖寺本堂の筋交い



瑞巖寺本堂の筋交い

瑞巖寺本堂の筋交い

瑞巖寺本堂の筋交い

宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

ひらかわ あらた
平川 新

未来への航路

平成の大修理

戦国時代に廃墟同然
になっていた瑞巖寺を
伊達政宗が再建したの
は、1609年(慶長
14年)のことでした。

し、柱脚の腐朽箇所を
付け替えるなど、「平
成の大修理」と呼ばれ
ました。10年をかけて
2018年に完成して
います。

幸い、工事の進捗状
況を確認する修復委員
会の委員に任命され
ることから、毎年報告を
聞いて修理現場を見学
する機会を得ることが
できました。複雑で工
夫を凝らした建築技法
には感嘆するばかりで
したが、災害史研究に
携わっている私が大き
な関心をもったのは地
震対策でした。

再建以来、400年
という長い歳月を経て
きましたので、建物の
腐朽や地震によるゆ
がみなどが進みまし
た。日本の宝として今
後も守り続けていくた
めに、2008年(平
成20年)から大修理に
着手しました。壁を落
として塗り直し、基礎
を補強するための工法
です。筋交いの場所や

②瑞巖寺の地震対策

あるときの現場見学
で、漆喰を落とした本
堂の壁を見て驚きまし
た。壁一面に筋交い
が張られていたので
筋交いは建物に耐
震補強するための工法
です。筋交いの場所や

筋交い工法

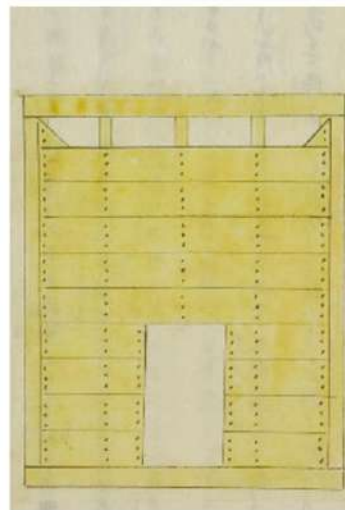
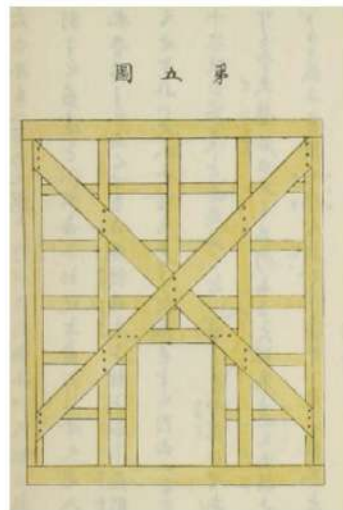
筋交いは、鎌倉時代
や室町時代の建物から
もいくつか発見されて
います。しかし、ほん
の数件です。しかも瑞
巖寺ほどたくさんの筋
交いがあるのは初めて
だということです。

瑞巖寺は伊達政宗が
上方から大工の棟梁を
招いて造ったお寺で
す。上方の棟梁は、こ
の地域に地震が多いと
いうことがわかってい
るからこそ、筋交い工
法を取り入れたのだと
思われます。上方大工
が筋交い工法を重視し
たのは、やはり地震体
験があったからだと思
います。

一番考えられるのは
1596年(慶長元
年)に発生した伏見の
大地震です。伏見城の
天守閣が倒壊するほど
の地震で、城内だけで



東北大学災害科学国際
研究所の所長などを経
て、平成26―31年度ま
で宮城学院女子大学学
長を務めた。専門は日
本近世史、歴史資料保
全学。令和4年4月に、
3代目のサン・ファン
館館長に就任した。



「筋交いを打ち(左図)、さらに厚さ1寸の板割を打ち付
けるべし(右図)」と書かれている。「防火策図解」より。

使われた和釘の種類な
どから、創建当時のも
のだとみられています

600人が犠牲にな
り、豊臣秀吉もあやう
く命を失うほどだった
のだとみられています

みると、1856年(安
政3年)に出版された
「防火策図解」に筋交
いの図がありました。

同書が書かれた幕末
あたりから、この筋交
い工法を住宅に適用し
ようという動きが出て
きたようです。ただ戦
前の建物に筋交いが用
いられているのは、か
なり少ないとのこと。

多くの土壁と板張りの
家屋でした。1950
年(昭和25年)に初め
て制定された建築基準
法に「筋交い」は耐震
のための材料として指
定されていますので、
一般の住宅に普及する
のは戦後のことだとみ
てよいと思います。

瑞巖寺は伊達政宗が
上方から大工の棟梁を
招いて造ったお寺で
す。上方の棟梁は、こ
の地域に地震が多いと
いうことがわかってい
るからこそ、筋交い工
法を取り入れたのだと
思われます。上方大工
が筋交い工法を重視し
たのは、やはり地震体
験があったからだと思
います。

瑞巖寺は伊達政宗が
上方から大工の棟梁を
招いて造ったお寺で
す。上方の棟梁は、こ
の地域に地震が多いと
いうことがわかってい
るからこそ、筋交い工
法を取り入れたのだと
思われます。上方大工
が筋交い工法を重視し
たのは、やはり地震体
験があったからだと思
います。

瑞巖寺は伊達政宗が
上方から大工の棟梁を
招いて造ったお寺で
す。上方の棟梁は、こ
の地域に地震が多いと
いうことがわかってい
るからこそ、筋交い工
法を取り入れたのだと
思われます。上方大工
が筋交い工法を重視し
たのは、やはり地震体
験があったからだと思
います。